

カマキリは

17年10月

和田 宏

カマキリは面白い、先ず格好が決まっている自転車に例えればMTB、バイクだったらトライアルバイクのように機能本位のお道具立て、一对の複眼と三つの単眼、長い足、強い鎌と顎を持ち、技も中々のものである。

11月は静岡、愛知に住む彼らにとって大事な時期である、そう、繁殖期の最後なのです、元気なメスはオスに巡り合うべく目立つように出来るだけ高い明るいところに移動して待ち続ける、オスは上空をトンボのように飛び回ってメスを探す、しかしメスを探しているのはオスだけではない、里山のハンター百舌も狙っています、それと一日一日下がる気温、空腹が体力を低下させます。冬を越せるのは卵だけなのです。

読者の皆さん是非カマキリを助けてやって欲しいのです、残された生命力を振り絞って産卵したい彼女らに対してわれわれが出来る事は餌の提供です。

11月になるとこれまでハンティングの対象であったバッタもコオロギも姿を消しています、唯一残っているのはクモです、クモと言えばカマキリが卵鞘から生れ落ちるときに下で待っていて兄弟を食べてしまった宿敵であるが、これは自力では捕まえられない。

筆者は弱ったメスカマキリを見つけたら、細い竹に留まらせて、竹を日向の地面に突き刺す、しばくするとカマキリはそこを自分のプロパティだと認識する、

別の竹棒を片手にクモを探す、結構居ますよ、棒を使いクモを地面に落としたりして戦闘力と闘争心を削減して竹棒に留まらせて、カマキリの棒の正面に移し細い葉っぱ等でクモの尻を突いて（強すぎるとクモは落下します）カマキリに近づけるとカマキリはプロパティへの侵入者を許さない、鎌で挟んでおいしそうに食べ始める、一時間くらいでクモを平らげたカマキリは元気を得て旅立つ、そしておそらく二三日後貴方はきっと何かの拍子にその近く小枝についた卵鞘を発見して思わず微笑む。

棒を持ってうろうろしていると近所の人に怪訝な顔をされますが理由を説明するのも面倒ですね、冷たい視線に耐えて行動しましょう、貴方は良いことをしているのですから。

ところでカマキリの話をするとうちの後メスがオスを食べてしまうという恐ろしい習性が披露されて、しばらくは盛り上がるのですがその後は話が續かないものです、これは事実ですが、然しカマキリの生活の一部に過ぎません、交尾後のオスも必ず食べられるのでは有りません、交尾前でも安全では有りません、メス同士の共食いも有り、カマキリは目の前にある動くものは何でも攻撃して食べてしまうようです、写真をご覧ください、時系列的にお話します、ポプラの木で蝉がうるさく鳴いていたのに突然「痛い、痛い」の悲鳴に変わった、油蝉がハラビロカマキリのメスに逮捕されていました、その周りを見ると更に何匹かのカマキリが蝉に向かって接近中でした、二番目のカマキリが横取りを企てたが蝉に逃げられ今度はカマキリ同士の争いになって遂に共食いが始まりました、

色々な虫を与えてみましたが唯一食べられなかったのは長さ 2.5 c m位のゾウムシでした、30 分くらいカリカリと噛む音が聞こえましたが行って見ると丁度放したところでした、ゾウムシの硬さは半端ではないようです。

筆者が観察の機会に恵まれたのは 30 年前である、添付の写真も庭で撮影した、然し最近ではバッタ、蛙、カマキリも個体数が減っている、我が家は草が生い茂る空き地に接した敷地です、そして庭に幅 1 メートル長さ 10 メートルの草を取らないエリアを設けている、1 m²のメダカの池がある、もっと居ても良いのではないかと感じますが前述の通りです、

町内の環境の変化に目を向けてみると、土面の減少、、コンクリートU字溝の増加、暗い竹やぶの増加、1 k m北に工業団地、500m南に複数の量販店、隣の部落は区画整理中、都市計画税を徴収される銃猟許可区域（カマキリには関係ないけど静岡県はそう言う県です）人間が快適に生きるためにしたことがマクロ的には自然破壊に繋がっているのでしょうか、身の回りで出来る事はありますか、庭をコンクリートにしないでバッタと遊ぼう、用水や側溝はコンクリートの内側の土砂を除去しなければ草が生えるシイタチや蛙が住める、マコモの生えていないコンクリートの用水路を想像して見てください、小魚は身を隠すところが無くブラックバスに食べられてしまう、狸やイタチは水が有っても飲みに行けない、暗い竹藪は落葉樹（コナラ）を植えて冬明るい里山の感じを取り戻したい。これらのことはカマキリのためではありません、われわれ人類の子孫の為に今出来る事でしょう。

面白い小さな隣人についての著作を紹介します「カマキリのすべて」岡田正也 トンボ出版 1800 円 です、ご近所の図書館に有るかな？

ファールルの昆虫記には紹介されていたでしょうか、読んでみたいと思っています。



蝉を捕らえたハラビロカマキリ

横取り 同士



蝉に逃げられカマキリ同士の争い



共食い、全部食べてしまいます、凄い。